

金峰山周辺のクリーン活動を実施

12月14日、当署管内金峰山及び小萩国有林において、熊本市、一般社団法人日本森林林業振興会等のくまもと自然休養林金峰山地区保護管理協議会、NPO法人災害通信ネットワーク、一般社団法人九州林業土木協会及び九州国有林林業生産協会の関係事業体の協力を得て、当署職員を合わせた総勢52人でクリーン活動を実施し、不法投棄されたゴミを回収しました。

開会式は山下誠吾郎総括事務管理官の司会進行により、川畑充郎署長から「金峰山周辺は多くの観光客が訪れる重要な観光拠点ですので、お越しになった方々に心地よく自然に触れてもらえるよう綺麗にしましょう」との挨拶の後、下大迫伸一総括森林整備官から作業の実施要領、留意事項等について説明しました。

作業は、現場を管轄する永野達也熊本森林官等が事前準備を綿密に実施した結果、スムーズに主要道路の2路線沿いに投棄されたゴミを回収・分別出来ましたが、道路から一歩林内に入ると空き缶やペットボトルなどの一般ゴミだけでなく、テレビ、冷蔵庫などの家電ゴミやタイヤ、断熱材まで投棄されており、急斜面で足場の悪い中を苦労しながら全体で4トンダンプ4台分のゴミを回収・分別して、処理施設へ搬入することが出来ました。

当署管内においては、処理費用の負担を消費者に義務付けた平成13年の家電リサイクル法の施行以降は不法投棄が増加傾向にありますが、引き続き関係機関との連携・協力を強化して国有林内のクリーン活動に努めていく考えです。



(参加された皆様)



(ゴミの回収状況)



(ゴミの回収状況)



(ゴミの分別状況)